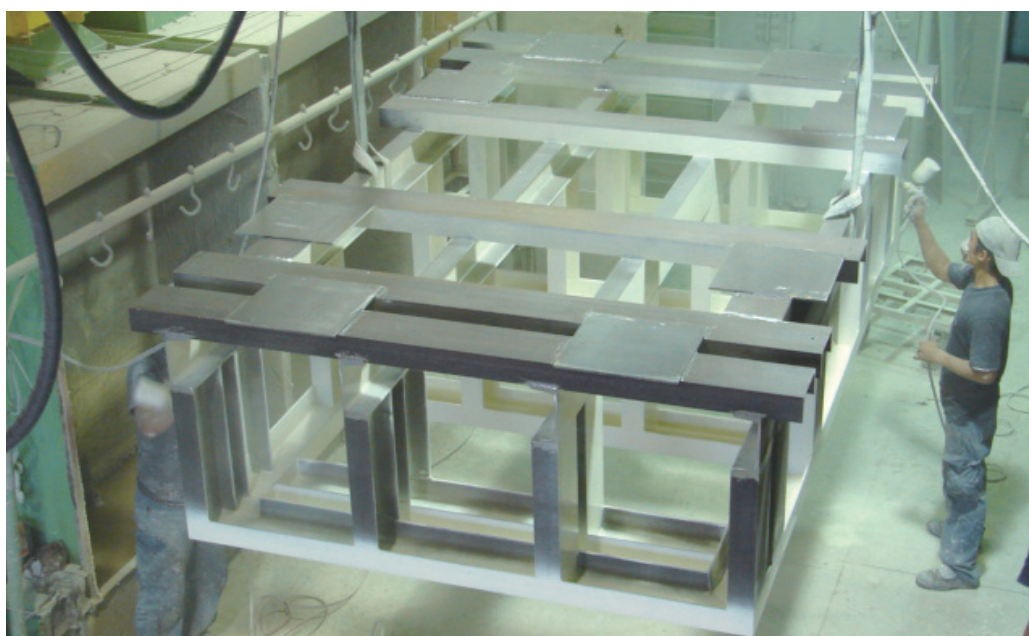


双葉塗装 株式会社

塗装技術で価値を創造

企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット



焼付塗装作業

業務内容
産業機械の焼付塗装、
オブジェの塗装も

旋盤など工作機械の塗り替えからスタートし、現在は金属の焼付塗装を中心としている。様々な業種の産業用機械の塗装を行い、液晶製造設備などクリーンルームで使用される機械からホコリが出ないようにするなど機能的な塗装もできる高い技術を有する。機械以外にも寺社仏閣の飾り金具や芸術家が製作するオブジェなどの特殊塗装も行っている。

強み 秘伝のパテで 美観仕上げ

単なる塗装ではなく、塗装面の凹凸を極限までなくし美観を保つために、鋳物などの表面を滑らかに仕上げるパテ処理が同社の強み。パテは先代から受け継いだ成分で、60年以上にわたって使い続けてきた。秘伝のパテを用いて商品によって異なる特殊な処理を行うことで塗膜が滑らかで光輝く美観仕上げとなる。同社では美観仕上げを「ツルピカ塗装」と呼んでいる。また美観だけでなく、クリーンルーム仕様のホコリが出ないようにする機械塗装も施している。パテを使用しない塗装の進化例もある。ステンレスやアルミ、チタンといった素材は、従来の塗料では着色することが難しかったが、機能的塗料の進化によって着色塗装ができるようになった。

塗装の よろず相談 対応 塗装以外の質問にも

「塗装のことならなんでも相談に応じます」。同社はホームページを通じて

て、塗装に関する相談を受け入れている。顧客の悩みを積極的に聞くことで、顧客拡大、塗装技術のPRにもつながっていく試みだ。自社技術だけでなく、仕事を融通する関係にある塗装業者ネットワークなどの力も活用しながら、時には塗装以外の表面処理や機械構造に関する質問にも応じている。多種多様な質問に応じるには、社員も当然勉強しなければならぬ。このため社員教育に力を入れ、社内でも自主的な勉強会を開いている。深江裕宗社長自身もリーマンショック後の受注激減を機に、異業種交流組織への参加など積極的に外に出て勉強の機会を増やした。異業種の人との出会いを基に、仕事の幅も広がっている。

今後の 展望 ツルピカ塗装技術 生かして新分野開拓

社員全員で知恵を出し合って5年後のビジョンを作成した。現在と同様に産業機械の塗装が中心であることは変わらないが、その周辺にツルピカ塗装の技術を生かして新規分野を開拓する。深江社長は「これまでは顧客からいただいた仕事をこなしてただ塗るだけだったが、特殊塗装技術を生かして価値が可視化できるような自社ブランド商品を作っていきたい」と語る。例えば今、珈琲焙煎機にツルピカ塗装を施したものが、高級感あふれる装置として展示されている。特殊塗装技術を自ら提案していくことで新たな価値創造を目指している。



ツルピカ塗装で美観仕上げ

COMPANY PROFILE

双葉塗装株式会社

大阪
25

当社の 歴史

昭和26年、先代（現相談役）が工作機械の塗り替えを始め、その後、自社工場を大阪市東成区に構えて塗装業を始めました。平成元年には東大阪市高井田に工場を移転。自動車関連の産業用設備メーカーと直接取引をするなど、パテ技術と機能的塗料で液晶テレビ設備や美観重視の商品に事業領域を広げています。社員満足が一番に考え、お客さまの満足を目指します。

パテと塗料であなたの思いを形にする双葉塗装。

代表取締役 深江 裕宗さん



■主な事業内容

金属の焼付塗装、寺社仏閣の飾り金具、アート作品の塗装

■主な取引先（納入先）

リバッティングマシンメーカー、家電メーカー、自動車メーカー、珈琲焙煎機メーカー

住 所／〒577-0065
東大阪市高井田中
3-1-21
T E L／06-6788-4511
F A X／06-6788-6468
創 業／昭和26年8月
設 立／昭和35年2月
資本金／1,000万円
従業員／6名

<http://www.futaba-toso.co.jp>